

ちきゅうのこどもほいくえん 年間テーマ『ゆめとところを膨らまそう』1歳児
2歳児

IC (1.2歳児)

日中は夏と変わらないような暑い日もありますが、日が落ちるのが少しずつ早くなってきました。最後まで水遊びを満喫し、下旬は小川沿いや石井戸公園へお散歩に行く予定です。久しぶりのお散歩では沢山、秋の自然を探索していきたいと思います。残暑が厳しくありますが、引き続き体調管理・暑さ対策・感染症予防に努めながら過ごしていきます。



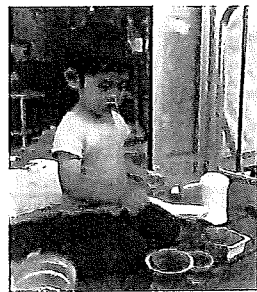
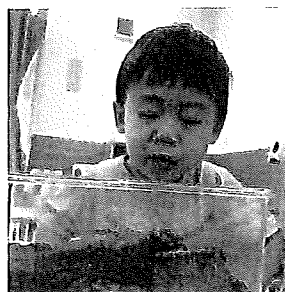
7・8月子どもの様子

水遊びは大きなタライやバケツ、おたまやれんげ等を使って遊びました。おたまやレンゲで水をすくって容器に水をうつしたり、手で触り水の冷たさや感触を味わったり、大興奮の子どもたち。おたまやれんげを使うことで、筋肉の動かし方を練習しています。また、水遊びでは五感を使います。例えば、水の冷たさを肌で感じる、水が流れる音を心地良く感じる、水に光が反射する様子を見てきれいだと感じる等です。

水に慣れてからは氷や色水も使用して遊びました。氷遊びでは、小さな氷を自分の手で握りしめあまりの冷たさに驚き、手を震わせて笑っている姿。大きな氷が水の中で溶けて小さくなっていく様子を、真剣に見つめている姿がありました。色水遊びでは、色水を見て「きいろ!」「あか!」「オレンジ」等名称を何度も言う姿もありました。色水を使った活動では、言語を知ってもらえるようにゆっくり・はっきりと色の名称を伝えるようにしています。

フィンガーペイントでは白い画用紙に色が移っていく様子を見て喜び、自分の身体にスタンプングをして感触も楽しみました。

そして8月頃からカブトムシとクワガタの飼育を始めました。ゼリーを変えたり、土を霧吹きで濡らしたり、毎日のお世話を目を輝かせながらしています。土の中からカブトムシやクワガタが出て来た時にはじっくり観察をする事もありました。



「手を使ってなんでもやるよ」
「ひとりですの てっだってね」

衣服のご紹介

子どもたちをよく見ていると、自分でズボンから足を出そうとしている姿や、袖を引っ張って自分で脱ごうとしている姿など、着脱の様々な動きを身につけようとしています。

衣服は、子どもたちにとって“自立を助けるもの”としての側面も持ち合わせています。保護者の皆様からも『どのようなものを準備したらいいですか?』とご相談いただくことも多いので、どんな衣服が発達を助けてくるのか、ICの子どもたちの様子や活動、環境等も含めた観点からおすすめの衣服のタイプをご紹介します。今後、新調する際に役立てていただければ幸いです。



Tシャツ・肌着

襟や身幅にゆとりがあり、
柔らかい素材。ロンパース
ではないもの。お腹が冷え
な心配な時はご相談くだ
さい。夏はノースリーブ、
冬は半袖がおすすめです。



上着

もこもこしすぎない
軽めのダウン等ナイロン
素材は落ち葉などが
付きにくく洗濯がしやす
いです。



ズボン

ゆとりがあり、足が出しやすく
柔らかい素材。
ウエストはゴムで、ボタンなど
留め具がないもの。



靴

マジックテープが
おすすめです。

おねがい

タオルや衣服等、毎日使う物の記名
が薄くなっていることが
あります。ご確認と再度記名をお願い
します。

全体的にゆとりがあり、柔らかい素材のものが
おすすめです。

冬場の室内は床暖房で温かいため、
長袖Tシャツ(厚手ではない)と肌着(半袖)の
2枚が丁度良いです。

今月のうた

むしのこえ
まつぼっくり

おたんじょうびおめでとう!

2日 かのこちゃん(1歳)
24日 あさひくん(1歳)